

# 総

# 説

## 1. 職員現員数

59.6.1現在

区 分	総務課		漁場 開発科	海洋 資源科	境港分場	試験船	
						第1鳥取丸	第2鳥取丸
場 長	1						
次 長	1						
専 門 研 究 員		2					
科 ・ 分 場 長			1	1	(1)		
主 任 ・ 主 事	1						
専 門 技 術 員					1		
運転士(自動車整備士)	1						
研 究 員					1		
船 舶 乗 組 職 員			2	2		13	4
計	4	1(1)	3	3	3	13	4

( )は兼務

## 2. 事務分掌

59.6.1現在

	職 名	氏 名	分 掌 ・ 事 務
	場 長	大 谷 丈 夫	場の総括
	次 長	井 上 典 三	課の総括
	専 門 研 究 員	小 田 切 忠 夫	
	"	佐 野 茂	分場の総括
総 務 課	課 長(兼)	井 上 典 三	人事・予算・庶務
	主 任	山 本 恵 美 子	給与・文書・経理
	自動車整備士	博 田 則 義	公用車の運転・管理
漁場開発科	科 長	井 上 忠 雄	浅海漁場開発・海域総合開発調査等科の総括
	研 究 員	松 本 勉	内水面増殖試験・魚病研究試験
	"	増 田 伸 哉	沿岸漁場造成・大規模増殖場造成・漁場環境調査
海洋資源科	科 長	野 沢 正 俊	沿岸資源生態・浮魚礁・餌料生物調査等科の総括
	研 究 員	西 田 輝 己	海洋牧場開発調査・ズワイガニ移殖放流事業
	"	山 田 英 明	白イカ資源開発・沿岸漁海況調査
境 港 分 場	分場長(兼)	佐 野 茂	200カイリ水域内資源・底魚漁場調査
	専 門 技 術 員	永 井 浩 爾	水産業改良普及活動の指導
	研 究 員	川 口 哲 夫	沖合漁海況・新漁場開発・浮魚漁場調査

	職名	氏名	分掌・事務
第1鳥取丸	船長	前田勝美	第1鳥取丸の運航・維持管理
	機関長	大西宏好	〃 機関管理
	航海士	小谷弘文	〃 漁労機器等の維持保全
	〃	川西恒信	〃 乗組
	機関士	浜田利幸	〃 〃
	〃	宮脇富士男	〃 〃
	〃	橋本栄	〃 〃
	通信士	松本仁	〃 無線機器等の維持保全
	船員	宇野巍	〃 乗組
	〃	吉沢盛夫	〃 〃
	〃	岩崎光真	〃 〃
	〃	森脇隆志	〃 〃
〃	生田繁行	〃 〃	
第2鳥取丸	船長	早野一成	第2鳥取丸の運航・維持管理
	機関長	田中洵	〃 機関管理
	航海士	沢富一	〃 無線機器等の維持保全
	船員	山下秀実	〃 漁具等の維持保全

### 3. 事業別予算（昭和59年度当初）

事業名	予算額（千円）	摘要
水産試験場費	84,052	
管理運営費	7,953	
一般管理費	7,953	単県
試験研究費	48,369	
資源生態調査費	13,562	
沿岸重要資源生態調査費	550	単県
200カイリ水域内漁業資源調査費	4,181	国委 $\frac{10}{10}$
海洋牧場開発調査費	4,831	国委 $\frac{10}{10}$
白イカ資源開発利用研究費	4,000	国補 $\frac{1}{2}$
漁場環境調査費	4,015	
沖合漁海況調査費	2,448	国補 $\frac{1}{2}$
沿岸漁海況調査費	758	単県
餌料生物調査費	809	単県

事業名	予算額(千円)	摘要
漁場開発試験調査費	29,243	
浮魚漁場調査費	11,841	{ 単県 財産 収入
底魚漁場調査費	9,464	{ 単県 財産 収入 国委 $\frac{10}{10}$
沿岸漁場造成技術開発試験費	1,201	単県 国委
新漁場開発試験調査費	6,737	{ 単県 財産 収入
増養殖技術開発試験費	1,549	
魚病対策試験費	1,000	単県
増養殖指導費	549	単県
船舶維持費	27,730	
第1鳥取丸維持管理費	10,976	単県
第2鳥取丸維持管理費	2,007	単県
第1鳥取丸定期検査費	14,747	単県